

# 令和4年度9月補正予算（案）の概要

## I 補正予算編成の柱

1. 新型コロナウイルス感染症対策に要する経費
2. コロナ禍における原油価格・物価高騰対策等に要する経費
3. その他緊急を要する経費

## II 補正予算の規模

◆ 一般会計補正予算 233億 44百万円

主な  
歳入

国庫支出金 211億 2百万円  
うち臨時交付金単独分 27億34百万円  
諸収入 16億73百万円

[単位:百万円、%]

| 年度   | 令和3年度<br>9月現計<br>① | 令和4年度   |           |            | 増減額<br>④-① ⑤ | 伸率<br>⑤/① |
|------|--------------------|---------|-----------|------------|--------------|-----------|
|      |                    | 現計<br>② | 9月補正<br>③ | 計<br>②+③ ④ |              |           |
| 会計   |                    |         |           |            |              |           |
| 一般会計 | 811,852            | 756,956 | 23,344    | 780,300    | △ 31,552     | △ 3.9     |

(注)表示単位未満四捨五入の関係で、集計が一致しない箇所がある。

## III 補正予算の主な事業

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策に要する経費

\* : 県独自支援

**[1] (新) 有症状者への抗原定性検査キットの配布等 1億7百万円 \*** 感染症対策室

- 外来診療のひっ迫に対応するため、有症状者への抗原定性検査キットの配布等を実施  
〔主な内容〕 陽性者判断センターの設置・運営、検査キットの配布体制整備 ※先議対応予定

**[2] (新) 休日等外来診療医療機関の確保 2億47百万円 \*** 感染症対策室

- 外来診療のひっ迫に対応するため、休診日に診療を行う医療機関へ協力金を支給  
〔対 象〕 県の要請する日時に外来診療を実施する医療機関 ※先議対応予定  
協力金:10万円/日(小児対応 3万円/日加算)

**[3] (新) 高齢者施設等職員への集中検査支援 1億27百万円 \*** 長寿社会課・障害福祉課

- 重症化リスクの高い高齢者施設、障害者施設等の施設内感染を防止するため、職員に対する集中検査を支援 ※先議対応予定  
〔対 象〕 入所系高齢者施設、入所系障害者施設・事業所

**[4] 医療機関におけるPCR検査機器等を支援 3億18百万円** 感染症対策室

- 検査体制の拡充を図るため、医療機関の整備を支援  
〔対 象〕 診察・検査等を行う医療機関 PCR検査可能数 5,752件→7,970件

**[5] 生活困窮者自立支援金 9百万円** 福祉保健課

- 申請期限延長(8月末→9月末)等に伴う所要額の増額

**<年間所要額の増額補正> 当初予算：上半期分等を計上**

|                                                   |           |
|---------------------------------------------------|-----------|
| ○重点医療機関等の病床確保支援（医療政策課）                            | 127億52百万円 |
| ○軽症者等の宿泊療養施設の確保（感染症対策室）                           | 39億23百万円  |
| ○PCR等検査無料化事業費（ 〃 ）                                | 7億70百万円   |
| ○新型コロナウイルス感染症相談窓口設置（ 〃 ）                          | 1億50百万円   |
| ○ワクチン相談窓口の設置（ 〃 ）                                 | 35百万円     |
| ○地域外来・検査センターの設置（ 〃 ）                              | 22百万円     |
| ○行政検査・入院医療費等事業費（ 〃 ）                              | 6億22百万円   |
| ○DMAT・CovMAT等派遣経費（ 〃 ）                            | 43百万円     |
| ○感染拡大時における保健師等の応援派遣経費（福祉保健課）                      | 12百万円     |
| ○医療機関・高齢者施設等におけるスクリーニング対策<br>（感染症対策室・長寿社会課・障害福祉課） | 4億84百万円   |
| ○医療・介護系養成校の学生のPCR等検査費用支援<br>（医療人材対策室・長寿社会課）       | 20百万円     |
| ○介護サービス事業所等のかかり増し費用支援（長寿社会課）                      | 2億36百万円   |

## 2. コロナ禍における原油価格・物価高騰対策等に要する経費

### 運輸物流・公共交通支援

\* : 県独自支援

#### **[1]（新）貨物運送事業継続のための緊急支援 3億87百万円** \* 交通政策課

- 燃油価格高騰の影響を受けている貨物運送事業者への支援金を支給  
〔対 象〕 貨物運送事業者(トラック)、離島貨物航路事業者

#### **[2]（新）公共交通事業継続のための緊急支援 2億52百万円** \* 交通政策課

- JR九州における事業継続及びポストコロナに向けた利用促進の取組を支援

#### **[3] 係船料・着陸料等への支援 25百万円** \* 港湾課

- 定期航路・航空路事業者の係船料・着陸料等を昨年度に引き続き支援  
〔対 象〕 定期旅客航路事業者、定期航空路事業者

### 中小企業等支援

#### **[1] 事業継続のための給付金 2億75百万円** \* 産業政策課

- 売上が減少している県内事業者に対し、国の事業復活支援金に上乗せして給付金を支給  
申請状況を踏まえ予算額を追加  
〔主な内容〕 1事業者あたり最大20万円（売上減少額を上限）※先議対応予定

#### **[2] 緊急資金繰り支援の融資枠拡大 16億60百万円** \* 経営支援課

- 既往債務の借換え等に対応するため金融機関への預託額追加により融資枠を拡大  
〔主な内容〕 融資枠100億円→200億円

## 農業・水産業支援

\* : 県独自支援

### [1] (新) 漁業資材価格高騰への緊急対策 2億44百万円 \*

漁政課

- 漁業者の負担を軽減するため、発泡箱等の価格高騰分への支援を実施  
〔補助対象〕 県内漁協

### [2] 漁協における省エネ設備等導入への支援 58百万円 \*

水産経営課

- 節電効果によるコスト低減等を図るため、県内漁業団体における省エネ機器の導入を支援  
〔補助対象〕 県内漁協等 〔補助率〕 1/2 ※6月補正(追加)予算の増額

### [3] (新) 肥料コスト低減に向けた施設整備を支援 1億49百万円 \*

農産園芸課

- 耕種農家のコスト低減のため、堆肥ペレット製造機械の導入経費を支援  
〔補助率〕 国1/2 県1/4

### [4] 燃油及び肥料の使用量低減に資する資機材導入を支援 3億26百万円

- 燃油や肥料の価格高騰の影響を受けにくい生産体制を整備するため、農家に \* 農産園芸課  
対し燃油や肥料の使用量低減に資する資機材の導入を支援  
〔補助率〕 1/2 ※6月補正(追加)予算の増額

### [5] 肉用牛繁殖農家への奨励金を支給 54百万円 \*

畜産課

- 子牛価格の急落に対応するため、国制度による奨励金が交付されない場合に県独自の奨励金を支給  
〔補助対象〕 経営改善に取り組む肉用牛繁殖農家  
〔支援内容〕 県内平均価格が60万円を下回った場合、子牛出荷1頭当たり1万円を支給

## 3. その他緊急を要する経費

### [1] 漁業取締船の代船建造経費 7百万円

漁業取締室

- 老朽化している漁業取締船「かいりゅう」の代船を建造(設計費)  
※建造に要する債務負担行為(R5~R6 890百万)

### [2] 母子保健・児童福祉一体的相談支援機関の整備を支援 16百万円

- 五島市が実施する子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点 \* 子ども家庭課  
の統合に要する費用を支援